

W-4-3

ワークショップ「構文形態論の新地平」第3発表

指定コピュラ文の意味構造をもつ NN 複合語の構文スキーマ: 外国人相手のビジネス、体目当ての男、野菜メインの食事

氏家 啓吾 (東京大学大学院)

keigo5525@gmail.com

1. はじめに

複合語の前部要素と後部要素の意味的關係の代表的なパターンとして、並列關係、修飾・被修飾の關係、項と述語の關係の3つがある (Lieber 2016: 53)。日本語の「名詞 + 名詞」型の複合語に関しては (1) のような修飾關係かつ後部要素を主要部とするものが大多数を占める¹。例えば「やくざ映画」では「やくざ」が「映画」を修飾し、全体としては映画の一種を表す。

- (1) **やくざ映画型**: 川魚、自動車学校、羽毛布団、へそピアス、外国人教師、野菜ジュース
- (2) **体目当て型**: 外国人相手 (のビジネス)、体目当て (の男)、野菜メイン (の食事)

本発表では、これまで注目されていなかった (2) のような複合語を扱う。これらの複合語では、「外国人が相手だ」「体が目当てだ」のように、「N₁がN₂だ」という指定コピュラ文の意味關係が成り立っている。これは修飾關係でも並列關係でもない。類例として次のような表現が挙げられる。

- (3) 勧誘目的 (で声をかける)、10日締め切り (の書類)、しょうゆベース (のスープ)、アニメきっかけ (ではまった)、ペンギンモチーフ (のキーホルダー)、当駅始発 (の電車)、中国起源 (の料理)、4000 字目安 (のレポート)、月末期限 (の書類)

本発表ではこれを指定文型複合語 (あるいは体目当て型複合語) と呼び、その特徴を構文形態論 (Booij 2010) の枠組みで記述することを通して、複合語パターンの知識を構文スキーマとして記述することの有効性を示す。

構成は次の通り。第2節ではこの種の複合語の各構成要素と要素間の關係および複合語全体の性質を記述し、独自の特徴を持つことを示す。第3節ではそうした特徴を捉えるべく、構文形態論の立場から構文スキーマを提示する。第4節では、このスキーマが持つ「統語的」性質に着目し、ある種の動詞由来複合語との類似性を指摘して「語」について考察する。第5節はまとめである。

2. 基本的な特徴

体目当て型の複合語の特徴を、同じ名詞 + 名詞のやくざ映画型複合語にも言及しながら述べる。

■音韻的特徴：1つのアクセント単位

日本語において、典型的な語は1つのアクセント単位をなす。本発表で扱う「外国人相手」といった表現も、多くの複合語²と同様次のように1つのアクセント単位にまとまる (ピッチの下がり目の直前の拍に「^ˈ」をつけて表す)³。

¹ 並列關係のものもある。「田畑」「手足」「親子」「父母」「裏表」「白黒」「快不快」など。

² すべての複合語が単一のアクセント単位をなすわけではない。「成田空港着陸 (の際)」「名古屋工業大学」などは複数の単位に分かれるが複合語とみなされる場合が多い (cf. 影山・柴谷 1989; 窪田 1995)。

³ 「がいこく^ˈじん | あいて^ˈの」などの複数のアクセント単位に分かれる発音も許容されると思われるが、本発表では1語のアクセントになる場合のみに着目して論じる。影山 (1993: 244–245) に「学生目当てに」などの例への言及があるが、複数のアクセント単位に分かれる読みが想定されている。

この事実は、「外国人教師」は教師の一種であるのに対し、「外国人相手」は相手の一種ではないことを示している。体目当て型複合語は次のように、述語あるいは修飾語としてのみ用いられ、事物の性質を表す。

- (10) a. 外国人相手のビジネス (連体修飾)
 b. 外国人相手に特産品を売っている。(連用修飾)
 c. このビジネスは外国人相手だ。(述語)

このような、もっぱら述語・修飾語として働き、ガ格やヲ格を付与されず、連体修飾の際にノが使われるという振舞いをする語の類は第三形容詞と呼ばれる。たとえば、「ずぶぬれ(の人)」などがこの類に含まれる(村木 2015)。

また、これらの複合語が述語として使われる際には(10c)のように後部要素N₂の関係項を主語に取り、その性質を表す。(10c)では後部要素は「相手」、その関係項は「このビジネス」にあたる。

表1 やくざ映画型NN複合語と体目当て型NN複合語の共通点と相違点

	やくざ映画型 (外国人教師、野菜ジュース)	体目当て型 (外国人相手、野菜メイン)
音韻的特徴	1つのアクセント単位	1つのアクセント単位
構成要素	N ₁ + N ₂	N ₁ + N ₂ (N ₂ は非飽和名詞)
構成要素間の関係	N ₁ がN ₂ を修飾する関係	N ₁ がN ₂ だという指定コピュラ文の関係
全体の意味と品詞	N ₂ の一種を表す名詞	性質を表す第三形容詞

3. 複合語の構文スキーマ

以上で論じてきた特徴は構成要素から導き出すことはできず、「野菜ジュース」などの一般的なNN複合語のパターンとも異なるため、部品を組み合わせるモデルでは扱うのが難しい。構文形態論(Booij 2010)では、合成語のパターンの知識はボトムアップに抽出された構文スキーマとして話者の心内に蓄えられると想定している。やくざ映画型と体目当て型のNN複合語のスキーマを以下に示す⁶。

- (11) やくざ映画型NN複合語のスキーマ:

<ω_k ↔ [N_i N_j]_{N_k} ↔ [SEM_iによって規定される種類のSEM_j]_k>

- (12) 体目当て型NN複合語のスキーマ⁷:

<ω_k ↔ [N_i N_j]_{A_k} ↔ [SEM_iがpのSEM_jであるという性質]_k> (pはN_jの関係項を表す)

どちらも名詞+名詞の構成だが、表現全体の文法的・意味的性質が大きく異なるのである。

4. 形態論と統語論の関係

以上で記述してきた指定文の意味を持つ体目当て型複合語は、「統語的」性質を示す。この点に着目すると、ある種の動詞由来複合語との共通点が見えてくる。この品詞を横断した一般化を上位の構文スキーマとして記述し、形態論と統語論の関係について考察する。

⁶ 左から、音韻構造、形態統語構造、意味構造をそれぞれ表示している。ωは音韻語を表す。またSEM_iはN_iの意味を表すというように、部門間の対応関係を下付き文字で示している。第三形容詞は形容詞の一種と考えAのラベルを付した。

⁷ N₂が非飽和名詞であり指定文の意味関係があれば常にこのような複合語が構成できるわけではない(「*田村正和主役(のドラマ)」; 1単位の読みでは不可) ことから、N₂が指定された下位スキーマが定着していると考えられる。

4.1. 「～相手」「～目当て」の語らしさと「統語的」性質

これらの指定文型複合語は、上述の通り単一のアクセント単位をなす点や、構成要素の間に要素の挿入を許さない点（「*財産も目当ての結婚」；1アクセント単位の読みでは不可）から、形式の面では緊密性が高いと言える。しかし同時に、1語らしくない性質も持つ。浅尾（2015）は、複合語の内部に代名詞や疑問詞が現れる例を調査し、「～目当て」について「統語的」性質をもつことを報告している。内部に代名詞・疑問詞や句の生起を許すという「統語的」性質は、以下に示すように、実際には指定文型複合語一般に見られるものである。

■内部に句が生起する

この類の複合語では、前部要素に2語以上からなる名詞句も生起可能である。この場合には前部要素の末尾の語が後部要素と音韻的なまとまりをなし、それ以前の修飾部は取り残される。

- (13) a. 民主党の日替わり「マニフェスト」は選挙の票目当ての... (浅尾 2015; Yahoo! 知恵袋)
b. そんな鈍感な人相手の恋愛に苦労している人のために、鈍感な人の特徴や性格を探ってみました。 (web記事 <https://mindhack-media.jp/articles/283>; 2019年9月閲覧)
c. 声の高い女の人メインで男の人が時々挟む感じでした
(5ちゃんねる <https://mint.5ch.net/test/read.cgi/music/1486698515/206-n>; 2019年9月閲覧)

■照応に参加できる

語の一部は通常照応に参加できないが、この構文の前部要素は照応に参加できる⁸。

- (14) a. 声優さんは名の知れてる方々なので、それ目当てじゃないと見る価値はないと思いますね。
(浅尾 2015; Yahoo! ブログ)
b. 他の人、ほかの何かであれば、うまくいくのに、その人相手では、絶対にうまくいかないのです (amebaブログ <https://ameblo.jp/saesnick/entry-12138426329.html>; 2019年9月閲覧)
c. ...女子の扱いに慣れている人を連れて行って、その人メインで話をすすめるとか。
(Yahoo! 知恵袋 https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q13147668048; 2019年9月閲覧)

■前部要素の等位接続が可能

次のように前部要素の等位接続も可能である。

- (15) a. 鹿と大仏目当ての観光客
b. インド人とパキスタン人相手の商売
c. 学部生と大学院生メインの勉強会

以上のように、形式の面では緊密であるにもかかわらず、「統語的」性質を示す。

4.2. 「体目当て」と「東京生まれ」との類似性

さて、ここで動詞由来複合語に目を向けると、ここまで扱ってきた例と類似したものがあることに気づく。浅尾（2007）は「～生まれ」「～行き」などの動詞由来複合語が代名詞・疑問詞や句の生起を許すこと（「どこ生まれ」「どこ行き」）から「統語的」性質を持つと指摘している。これらの語は、音韻の面では単位をなす一方で「統語的」性質を持つという点で、体目当て型複合語と共通しているkとなる。それに加えて、性質を表す第三形容詞として振る舞うという点も注目すべき共通点である（「東京生まれの女性」）。類例として以下を挙げることができる。

⁸ Kageyama (2016: 507) は「彼好み」「ここ止まり」等について、これは直示であって照応ではないとして語の内部の照応の例と認めていない。しかし浅尾（2015）が指摘するように、明確な照応であっても容認される。「ある駅で確実に降りたい場合、そこ止まりの電車に乗るようにすれば、寝過ごす心配がなく安心だ」など（浅尾 2015: 90）。

- (16) 影山 (1993: 326–327) が句の包摂として挙げる例：～譲り、～扱い、～付き、～向け
 (17) 影山 (1993: 195–197) が語彙的複合語とする例：～待ち、～任せ、～払い (受取人払い)、～負担 (受益者負担)
 (18) 浅尾 (2007) が生産性の高い動詞由来複合語として挙げる例：～暮らし、～済み、～持ち
 (19) その他：～狙い、～寄り、～似 (母親似の人)、～縛り (K-POP縛りのカラオケ大会)

(cf. 伊藤・杉岡 2002: 111)

これらはいずれも音韻的単位をなしかつ「統語的」な性質を持つ複合語で、全体としては第三形容詞を作る。つまりこれらと指定文型NN複合語は、後部要素がVかNかという構成要素の種類 (インプット) の違いはあるものの、複合語全体の文法的・意味的特徴 (アウトプット) は共通しているのである。

部品を組み合わせるモデルではこのようなアウトプットに着目した一般化を捉えるのは難しいが、構文形態論のモデルではスキーマ間の階層関係を用いて捉えることができる。下図のように、後部要素の品詞が未指定 (X) の上位スキーマを想定する。複合語として例外的な「統語的」性質は、この上位スキーマに結びついていると考えられる。

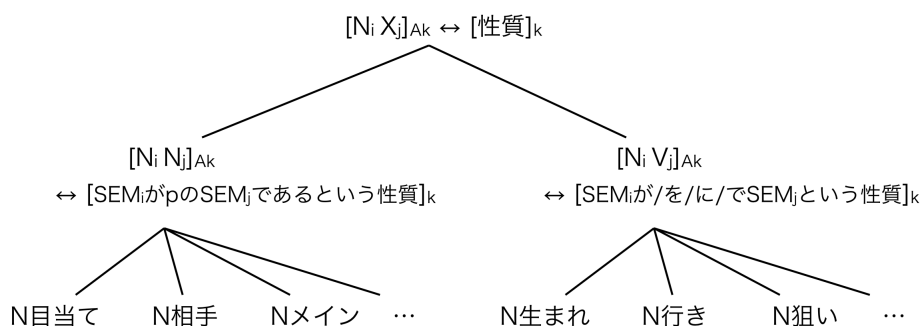


図1. スキーマの階層

4.3. 形態論と統語論

句の生起や照応、等位接続といった、通常統語論に属するとされる現象が複合語の内部に見られることは、形態論と統語論の関係、そして「語」という概念の再考を迫る。

浅尾 (2014) は、Haspelmath (2011) で「語」の判断基準とされている諸性質を大きく (i) 形式的なまとまりに関わる性質と (ii) まるごと記憶される単位に関わる性質の2つに分けた上で、「語」というカテゴリーは、原理的には独立であるこれら2つの性質の間に相関が見られることによって創発的に生じるものであると論じている。ステレオタイプの語は「青空」のように形式的まとまりを持ち、かつ記憶の単位となる。逆に、ステレオタイプの句は「昨日の会議」のように形式的まとまりを持たず、かつその場で生産的に作られる。しかし、こうしたステレオタイプに当てはまらない場合もある。

本発表で扱った指定文型複合語では内部に代名詞や句が生起することを見たが、こうした「統語的」特徴は、表現がその場その場で生産的に作られることの副次的効果と見ることができる (浅尾 2007)。実際「～目当て」や「～相手」は極めて生産的である (「ロナウジーニョ目当て」)。したがって「～目当て」といった表現は、形式的には緊密だがその場その場で新規事例が作られるという、語のステレオタイプから見ると相反する特徴を備えた表現であるということになる⁹。重要なのは、こうした特徴は指定文型複合語の構文スキーマ全体に当てはまるものであるため、個別的な例外として扱うことはできないということである。

⁹この点から、語が通常持つとされる「名付け機能」 (影山 1993) を持たないと言える。西山國雄 (2015: 83) は「常套句」では例外的な句の包摂が許されると論じるが、極めて生産的である以上これらを常套句とみなすこともできない。もちろん、生産的な構文の適用事例であっても定着・慣習化することはしばしばあるため (Langacker 1987: 29)、個々の事例がレキシコンに登録されることはありうる。「体目当て」はそのような例とみなすことができる。

言語記号が形式的なまとまりをなすかどうかと記憶の単位となるかどうかはゆるやかに相関するが、一致しない場合もある。これらが一致するかどうかは個々の構文スキーマに依存すると考えられる。形態論と統語論という全面的な部門の違いとして捉えられていた事実は、各言語の構文ネットワークにおける各構文スキーマの具体的な知識の性質として捉え直される。

5. むすび

以上、従来扱われていなかった指定文の意味構造を持つ複合語を構文形態論を用いて分析し、ある種の動詞由来複合語との類似性を指摘し、それにもとづいて「語」について考察した。

本発表で用いた指定文、変項名詞句といった名詞句の意味に関する諸概念は、語の内部構造の分析には適用されてこなかった¹⁰。本発表の分析は、語の内部を名詞句の意味論の観点から分析することの有効性を示している。この見方は、語内部の意味構造と文の意味構造の平行性を見いだすことにつながる。たとえば、本発表で扱った複合語に見られる非飽和名詞が変項名詞句を担うという特徴は、(20)に示す「カキ料理構文」および「地図をたよりに構文」と呼ばれる構文にも見られる。いずれも下線の部分に非飽和名詞を要求するとされ、その名詞句が変項名詞句として機能する（西山佑司 2003; 三宅 2011; 氏家 2017など）。

(20) a. カキ料理は、広島が本場だ。

b. ソ連のアフガニスタン侵攻をきっかけに、防衛力増強の要望が高まった。

この点からも、体目当て型複合語とこれらの文レベルの構文の間には密接な関係があると思われる。語の内部の意味構造と文の意味構造の関係についての今後の研究が期待される。

参考文献

- 浅尾仁彦 (2007) 「複合語の生産性と文法的性質」『日本言語学会第134回大会予稿集』416–421.
- 浅尾仁彦 (2014) 「「単語」の創発性と日韓動詞連続」京都大学言語学研究33, 33–56.
- 浅尾仁彦 (2015) 「代名詞・疑問詞を含む複合語の調査」第7回コーパス日本語学ワークショップ予稿集, 89–94.
- Booij, Geert. (2010) *Construction Morphology*. Oxford University Press.
- Haspelmath, Martin (2011) The indeterminacy of word segmentation and the nature of morphology and syntax. *Folia Linguistica*, 45 (1), 31–80.
- 伊藤たかね・杉岡洋子 (2002) 『語の仕組みと語形成』研究社.
- 影山太郎・柴谷方良 (1989) 「モジュール文法の語形成論—「の」名詞句からの複合語形成—」久野暁・柴谷方良 (編) 『日本語学の新展開』139–166.8
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』ひつじ書房.
- Kageyama, Taro (2016) Lexical integrity and the morphology- syntax interface. Kageyama and Kishimoto (eds.) *Handbook of Japanese lexicon and word formation*, 489–528.
- 窪蘭晴夫 (1995) 『語形成と音韻構造』くろしお出版.
- Langacker, Ronald W. (1987) *Foundations of Cognitive Grammar, vol. 1*. Stanford University Press.
- Lieber, Rochelle (2016) *Introducing Morphology 2nd edition*. Cambridge University Press.
- 三宅知宏 (2011) 『日本語研究のインターフェイス』くろしお出版.
- 村木新次郎 (2015) 「日本語の品詞をめぐって」『日本語文法』15 (2), 17–32.
- 西山國雄 (2015) 「日本語の句複合」西原哲雄・田中真一 (編) 『現代の形態論と音声学・音韻論の視点と論点』78–95.
- 西山佑司 (2003) 『日本語名詞句の意味論と語用論』ひつじ書房.
- 氏家啓吾 (2017) 「「地図をたよりに」構文と非飽和名詞」『東京大学言語学論集』38, 287–301.
- 由本陽子 (2016) 「日本語複合動詞の解釈メカニズム」言語文化共同研究プロジェクト2015, 79–88.

¹⁰ 重要な例外として西山佑司 (2003: 110) の「～次第」の分析が (もし語とみなすならば) 挙げられる。「この子の将来の奥さん次第」における「この子の将来の奥さん」に関して、指示的名詞句の解釈と変項名詞句の解釈とで意味論的に曖昧であるとする分析が提示されている。